

バイオ技術開発の変遷 (代表する主な研究成果)

総合技術研究創立当初から現在に至るまで、バイオ技術を用いた農業・水産業との地域共生や環境保全および電力需要造成を目指した技術開発に取り組んでいます。また、近年の地球環境保全や生物多様性に関する技術開発や更なる電力の安定供給・コストダウンに貢献できる技術開発にも積極的に取り組んでおります。(凡例 青帯：水域生物関係、緑帯：陸域生物関係)

S40~H6

農業・水産業振興（地域共生）

環境保全技術（生物多様性）

①温排水利用増殖技術の開発（～平成25年度）

②アラム・カシメ藻場造成技術の開発（～平成16年度）

H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16

農業・水産業振興（地域共生）

環境保全技術（生物多様性）

電力設備の保全技術

需要造成技術（農業電化）

①温排水利用増殖技術の開発（～平成25年度）

②アラム・カシメ藻場造成技術の開発（～平成16年度）

③希少植物の保護、増殖に関する研究（～平成23年度）

④アマモ場造成に関する研究（～平成22年度）

⑤クラゲの発生海域の探索と大量発生予測（～平成23年度）

⑥鉢花・切り花の新品種の開発（～平成19年度）

⑦温室分野における強制換気システムの研究（～平成20年度）

H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26

農業・水産業振興（地域共生）

環境保全技術（生物多様性）

電力設備の保全技術

需要造成技術（農業電化）

①温排水利用増殖技術の開発（～平成25年度）

③希少植物の保護、増殖に関する研究（～平成23年度）

④アマモ場造成に関する研究（～平成22年度）

⑤クラゲの発生海域の探索と大量発生予測（～平成23年度）

⑥鉢花・切り花の新品種の開発（～平成19年度）

⑦温室栽培における強制換気システムの研究（～平成20年度）

⑧グラウンドカバー植物を用いた雑草抑制、屋上緑化に関する研究（～平成22年度）

⑨温室栽培へのヒートポンプ適用に関する研究（～継続実施中）

⑩発電支障付着生物の出現調査（～継続実施中）

⑪電力設備に影響を及ぼす動物の種判別技術の確立（～平成26年度）